



うわど

強く 正しく 美しく



令和2年5月7日

季節は早くも5月を迎えました。

校長 黒須 淳一

「行為の意味」

宮澤章二

あなたは心はどんな形ですか
と人に聞かれても 答えようがない
自分にも 他人にも 心は見えない
けれど、本当に見えないのであろうか
確かに 心は誰にも見えないけれど
心づかいは見えるのだ
それは人に対する積極的な行為だから
同じように
胸の中の思いは見えないけれど
思いやりは見えるのだ
それは人に対する
積極的な行為なのだから
あたたかい心が
あたたかい行為になり
優しい思いが
やさしい行為になるとき
「心」も「思い」も 初めて美しく生きる
それは 人が 人として生きることだ

『心は誰にも見えないけれど 心づかいは見える。
思いは誰にも見えないけれど 思いやりは誰にでも見える。
その気持ちを形に』

青葉の頃ですが、外出も思うようにならず、お疲れのこととお察しいたします。
上の言葉は、東日本大震災の時にテレビで流れた言葉です。

災害と感染症との違いはありますが、保護者の皆様も、子どもたちも、そして、
私たち教員も同じ時間のなかで、これまで経験したことの無い不安と向かい合
っています。世の中では、ネットでの心ない書き込みや言葉が問題にもなっ
ています。このようなときだからこそ、心を整え、「心づかい」や「思いやり」と
いった言葉の重みと、形にする大切さに思いを巡らせています。私は、学校が
再開したら子どもたちと「心づかいは思いやりの心を形にすること」について
話してみたいと考えています。

今、学校では休業明けの授業の準備に余念がありません。

上戸小学校全職員で、お子様方が元気なあいさつとともに登校されることを心
よりお待ちしております。